



糖尿病のお薬では新しいお薬が次々と発売されています。  
今回は**新しいお薬**と**低血糖**について勉強してみましょう。

『糖尿病で注射をしている＝インスリンしている。』  
というイメージをお持ちの方も多いのではないのでしょうか？

2010年に『**GLP-1アナログ製剤**』という画期的な新しい注射薬が発売されました。

商品名：ビクトーザ



用法：1日1回  
朝また夕に可能な限り  
同じ時刻に行う

商品名：バイエッタ



用法：1日2回  
朝夕食前60分以内  
に行う

## 作用

血糖値が上がった時にだけ、インスリンを出すように指令を出して血糖値を下げられます。

このような作用では飲み薬のDDP-4阻害薬（**エクア・ネシーナ・ジャヌビア・グラクティブ・トラゼンタ・テネリア・スイニー**）と変わらないように思いますが、ほかに下記のような特徴があります。

## 新薬の特徴

- ☆血糖が高い時にだけ、インスリンを出して血糖をさげてくれ、低血糖になりにくい。
- ☆インスリンを出す細胞を元気にしてくれる。
- ☆胃での消化を遅らせて満腹感を持続させて食欲減少・体重減少が期待できる。

※全ての糖尿病患者さんにこの薬が使えるわけではありません。ご興味のある方は主治医にご相談ください。

# 低血糖とは

活動するために必要なエネルギーを作ることができない状態になってしまったことです。  
通常は空腹時80~110mg/dlの血糖値が**70mg/dl以下**になってしまいます。

## 原因

- 内服薬やインスリンの量が多すぎた場合
- 食事量が少なかった場合、食事の間隔があいた・不規則になった場合、
- 運動量が多かった場合、食事前に運動した場合



## 低血糖の症状

血糖値	主な症状
80~110mg/dL	「優」コントロール良好
60~70mg/dL	空腹感、あくび、悪心
50mg/dL	無気力、倦怠感、計算力減退
40mg/dL	発汗(冷汗)、動悸(頻脈)、震え、顔面蒼白、紅潮
30mg/dL以下	意識不明、異常行動、けいれん、昏睡

※血糖値と発現する症状・時期には、個人差があります。

### 低血糖が長時間続くと生命に危険な状態になります!!

- ★低血糖の症状には個人差があります
- ★自分がどんな症状が出やすいかを知っておくことが大切です



## 低血糖の対処方法

- 10~20gのブドウ糖か砂糖、またはそれらを含む飲料水を飲みます。
- 角砂糖(1個4g)なら3~5個、ペットシュガー(1袋6g)で2~3袋になります。
- ファンタグレープ/ファンタオレンジ/コーラなどはブドウ糖を多く含む飲料水です。150mlなら半分量飲みましょう。



文責：瀬川 美樹

## せがわ薬局

石川県七尾市鍛冶町50番地  
 TEL 53-0810 FAX 53-3557  
<http://www.segawa-pharmacy.com/>